

ぼうさい通信 Vol. 3



平成 29 年 9 月 15 日発行
熊本県立湧心館高等学校

9月1日は「防災の日」

大正 12 年 9 月 1 日に発生した関東大震災。この震災では木造住宅が密集していた東京を中心に火災が広範囲に広がったために、被害が拡大。190万人が被災し、10万人以上の死者・行方不明者を出しました。この震災に由来して、9月1日を「防災の日」としました。

また、防災の日を含む1週間（8月30日～9月5日）を防災週間として定め、さまざまな取り組みがなされています。

地震から身を守ろう

昨年の熊本地震から1年5か月が経ちました。いまだに仮設住宅での生活を余儀なくされている方々もいますし、阿蘇のほうでは先日ようやく水道の復旧が完成した地域もありました。まだまだ復興には遠い道のりではありますが、徐々に前に進んでいくことでしょう。

さて、熊本地震の時のような大地震が起きたらどうしないといけないのかを、少しおさらいしたいと思います。

①揺れを感じたら・・・

物が「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に素早く身を寄せ、安全を確保しましょう。家の中にいる時には、家具などが倒れても下敷きとならないような安全な場所をきちんと把握しておきましょう。

②揺れが収まったら・・・

ゆっくり慌てずに外に避難しましょう。防災バックを準備していたらそれを持ち出しましょう。毛布等があれば敷いたり羽織ったりもできるので便利です。

まずは、自分の身を、家族の身を守ることが大前提です。家具や建物の下敷きとならないように、落ちてきたものが頭に当たらないようにしましょう。

避難所運営ゲーム（HUG）研修会に参加してきました。

8月22日（火）熊本商業高校蛟竜館で行われ、東稜高校・熊本商業高校・湧心館高校の3校が参加。福島県の福島大学から本多環先生が講師として来られ、避難所の運営を体験してきました。体育館に見立てた広用紙に避難者が来たという想定で、体育館のどこに配置するかを各班で話し合っって避難者が記載されたカードを広用紙の上に置いていきます。他校の生徒たちに負けじと、本校の生徒たちもしっかりと意見を述べ、活躍していました。